

シーナカリンウィロート大学 人文学部



タイ王国バンコクに本部を置く1949年創立の国立大学。シリントーン王女も学んだ由緒ある総合大学。

都心に立地するため交通の便がよく、また多くの日本人が住む治安の良い地域にある。

人文学部には、心理学・図書館情報学・宗教哲学・西洋語・タイと東洋語・言語学の6つの学科があり、2012年度の交流協定の締結以降、学生の相互派遣が盛んに行われている。



シーナカリンウィロート大学への留学ってどんな感じ？

どうしてシーナカリンウィロート大学を選んだの？

1年次より第二外国語としてタイ語を学んでいたため、英語とタイ語両方を学べると思い、学部の協定校のシーナカリンウィロート大学を選びました。また、基礎ゼミナールで東南アジアについて学んだことや実際にタイの生徒と交流したこともきっかけになりました。

大学・学生の雰囲気

大学は広く、グラウンドでは学生や子供達がスポーツをしているほどのどかな雰囲気でした。また、市場やナイトマーケットが毎週大学で開かれたり定期的にイベントがあって大学でライブやショーをしていたり、日本の大学では感じられないエネルギッシュな雰囲気がありました。

大学での授業について

主に言語学に関する授業を受けていました。授業自体はそこまで難しくなく、興味のある内容ばかりだったのでとても楽しかったです。

私が履修していた授業は少人数でのグループディスカッションやグループワークが多かったです。英語で意見交換をしたり、ロールプレイングゲームをしました。授業中は生徒と先生のやり取りが活発で、生徒が積極的に発言や質問をしていました。

大学外の活動

次にいつタイに来られるのかわからないという思いもあり、タイの色々な県に旅行に行きました。また、日本からよりもタイから行った方が安いこともあり、外国にもたくさん行き、半年で11の地域に行くことができました。シーナカリンウィロート大学では言語学の主に英語の特徴についてを学んでいたため、知識として学んだことを直接聞いて体験することができたのでとてもよかったです。

ある1日のスケジュール



シーナカリンウィロート大学への留学について知りたいあれこれ

🏠 宿舎のこと

シーナカリンウィロート大学に寮はありませんが、大学国際部より、おすすめの物件リストをいただいています。渡航前に手配をする学生もいますが、渡航後、まずはホテルに滞在し、人文学部のタイ人の学生がBuddyとなって宿舎探しを手伝ってくれますので、安心です！

📖 タイ語のこと

第二外国語でタイ語を選択し、授業外でもタイ語に力を入れていた学生も過年度いますが、第二外国語でタイ語を選択していない学生やタイの短期プログラムに参加していない学生も過年度多く参加しています！

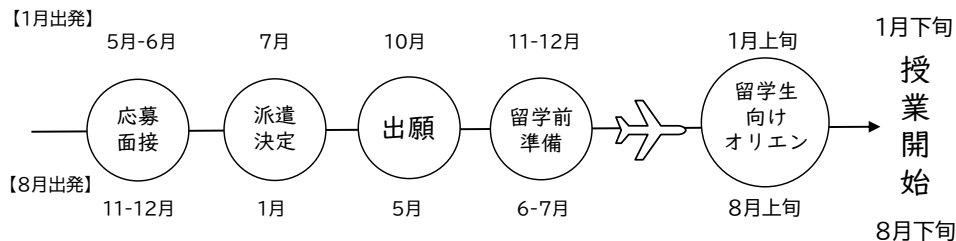
💰 お金のこと

- * 渡航費 約12万円～15万円 ※変動あり
- * ホテル代 (宿舎決定まで) 約4万円～5万円 程度
- * 宿舎費 1か月約15000バーツ (45000円)～

🤝 ASEANセンターについて

シーナカリンウィロート大学には明治大学ASEANセンターがあります。日本語が堪能な先生やスタッフが常駐しているため先輩方も利用していた方が多いです！いつでも気軽に相談できる環境が近くにあることも一つのメリットです！

📅 留学までの流れ



留学を考えている人へ

留学は動いた人がどんどん得をすると思います。留学を決めたら、日本にいる時の10倍は積極的になるべきです。とにかく行くこと決めたら日本にいる時の自分を知る人なんていない！と割り切って何にでも挑戦してみてください。留学期間は確かに貴重なものですが、たくさんの経験をするのが大切です。しかし、あまり気負わず、疲れた時や落ち込んだ時に違う考え方をして一種の逃避をしてみても別の新たな発見があります。こうした視野の広さや違った物の見方を得ること、新たな自分を発見することも留学の醍醐味だと私は思います。充実した素敵な留学生活になるよう応援しています！

(2022年度参加 女性)

大学についてより詳しく知りたい方はこちらをご覧ください！

Faculty of Humanities,
SRINAKHARINWIROT
UNIVERSITY
(英語サイト)



問い合わせ先
情報コミュニケーション学部事務室(駿河台)
Tel 03-3296-4263
Mail infocom@mics.meiji.ac.jp